



Title	中国研究集刊 宇号（第5号） 編集後記/奥付
Author(s)	
Citation	中国研究集刊. 1988, 5
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/60945
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

編集後記

*執筆者紹介

湯浅 邦弘

杉山 一也

佐藤 一好

塘 耕次

山口 久和

田中麻紗巳

加地 伸行

島根大学専任講師
島根大学大学院学生

大阪大学助手

愛知教育大学助教授

大阪市立大学助教授

京都女子大学教授

大阪大学教授

*期せずして、塘・山口両氏の翻訳書が刊行された。翻訳は大作業である。いわば異文化との衝突である。そうしたぶつかりあいのとき、必ず訳者にとっての新しい発見があるだろう。その一端を示していただければと、前記両氏にお願いした。

*田中麻紗巳氏との対談は、前号の続きである。今回、字・宙両号に分載したが、次回以降は、分載しないつもりである。対談が第一回目であったので、捨てがたい議論が多く、また、以後のシリーズ化の予告の意味を含んで、分載した。

*私の「中国哲学史研究ノート」も次号から欠かさず載せたい。

*湯浅邦弘氏は、六十三年四月、北海道教育大学釧路分校助手から、母校の島根大学教育学部に昇転任した。本誌出身第一号

の研究者である。

*三月二十六日、御手洗勝先生（広島大学）の定年退官の会があつた。学生時代以来、お世話になつた先生の祝賀会に出席、感慨ひとしおであつた。

*その帰路、同じく出席された児玉六郎先生（新潟大学）と一時間ほど懇談した。先生は本誌の熱心な愛読者である。ありがたいことである。このような先生方の御期待に沿うべく、今後さらに一層の堅実な展開を期したい。

*本誌は広く学界に門戸を開いているので、発表に際して面倒な内容のもの（図版・表など）や、あるいは短いもの（五枚ぐらいなど）、一般的に雑誌が引き受けない内容のもの等々、研究者の筐底に眠つたままの玉稿をいただきたい。お声をかけていただきたい。

*東大教養学部における中沢新一人事をめぐつてさまざまな議論が行なわれていて。アカデミズムを軸としたこれらの議論は、けつして遠いところの話ではない。わが中国学界にも中沢新一と同じく、学界と別の世界で活躍しておられる方もある。わが中国学界もすこしは議論をしてもよいのではなかろうか。

(加地伸行)

中国研究集刊 宙号（1988年6月20日発行）
編輯・発行 大阪大学文学部中国哲学研究室
郵便振替口座番号 大阪6-34413 中国研究集刊
印刷・タカラ写真製版株